

1. 研究活動

録音			
<p>大阪交響楽団 第176回 定期演奏会 マーラーのライヴアル級友 ハンス・ロット</p> <p>指揮：寺岡清高 氏 演奏：大阪交響楽団</p>	2013. 5. 17	大阪 ザ・シンフォニーホール	<p>オーケストラ ライブ録音 ハンス・ロット ・ジュリアス・シーザーへの前奏曲 ・管弦楽のための前奏曲 ホ長調（日本初演） ・管弦楽のための組曲 ホ長調（日本初演） ・交響曲 第1番 ホ長調 オーケストラの定期演奏会のライブ録音を行った。 マーラーの級友といわれる、ハンス・ロットの作品のみで構成されたコンサートで、日本初演の作品の演奏もあった。</p>
<p>飛騨高山ヴィルトーゾオーケストラ 2013</p> <p>演奏：飛騨高山ヴィルトーゾオーケストラ CI：サトーミチヨ 氏</p>	2013. 6. 2	飛騨・世界生活文化センター	<p>オーケストラ ライブ録音 ・交響曲第1番「古典交響曲」/プロコフィエフ ・クラリネット協奏曲イ長調/モーツァルト 他 オーケストラ演奏会のライブ録音を行った。同時に MADI ヘッドアンプの特性について比較データを収録するためにメインマイクを分岐し、3種類の MADI ヘッドアンプに入力して比較検討をした。この音源は、96kHz 24bit FLAC という形式で、オンキヨーが運営する、高音質配信レーベル、e-onkyo music より 2013年11月1日に発売された。</p>
<p>中部フィルハーモニー交響楽団 「第5回名古屋定期演奏会」</p> <p>指揮：秋山和慶 氏</p>	2013. 6. 28	三井住友海上 しらかわホール	<p>オーケストラ ライブ録音 ・バレエ音楽「マ・メール・ロワ」/ラヴェル ・演奏会用狂詩曲「ツイガース」/ラヴェル ・詩曲 Op.25 / ショーソン ・交響曲ハ長調/ビゼー オーケストラの定期演奏会の CD プロダクションを行った。同時に、メインマイクを MADI による転送と、メインマイクの物理的な設置パラメータの比較データを収録するために、3種類の間隔のメインマイクを設置して比較検討をした。編集後 CD となり支援会員への配布と一般に発売された。</p>
講演			
<p>AES (Audio Engineering Society) 2013年4月例会 「ドイツのトーンマイスター教育とクラシック音楽の録音事情について」</p>	2013. 4. 25	東京・目黒 タックシステム (株) デモルーム	<p>放送・音響・録音関連の学会である、AES (Audio Engineering Society) 日本支部の例会にて、2012年4月より1年間、ベルリンに滞在して行った、トーンマイスター教育とクラシック音楽録音についての研究調査の報告を行った。1949年からドイツの音楽大学で始まったトーンマイスターと呼ばれる、レコーディングプロデューサーとバランスエンジニアの両方の能力を持ったスペシャリストを養成する教育についてと、そのトーンマイスターによってドイツで実際に行われた何件かの録音事例を紹介した。</p>
<p>AES (Audio Engineering Society) 2013年7月例会 「ドイツのトーンマイスター教育とクラシック音楽の録音事情について」</p>	2013. 7. 13	大阪 (株) 毎日放送 B1階 AV ルーム	

<p>AES (Audio Engineering Society) 日本支部 60 周年記念イベント シンタックスジャパン プロダクトセミナー 「MADI が可能にする低廉・コンパクト・高品質なライブ・レコーディング」</p>	<p>2013. 8. 23</p>	<p>東京芸術大学 千住キャンパス</p>	<p>ライブ・レコーディングに必要な機材やケーブルを大幅にダウンサイジングでき、入力経路のアナログ部を極力短くすることで劣化のない高品質な録音を実現しながら、1 本の光ケーブルで 64 チャンネルものオーディオ信号を伝送することが可能な MADI について、ドイツでの事例と、日本で行った、中部フィルハーモニー交響楽団、Jazz ライブハウスなどでの事例について解説をした。</p>
<p>株式会社シンタックスジャパン RME 新製品発表会 — MADI Everywhere — シンタックスジャパン プロダクトセミナー 「MADI が可能にするコンパクトで高品質なレコーディングについて」</p>	<p>2013. 10. 26</p>	<p>シンタックスジャパン</p>	
<p>寄稿</p>			
<p>サラウンド寺子屋塾 5.1 Surround Terakoya Lab 「ドレスデン近郊ラーデベルクでの教会音楽のサラウンドレコーディングについて」</p>	<p>2013. 11. 8</p>		<p>2012 年 10 月にドレスデン近郊ラーデベルクで行われた、ドレスデン室内合唱団 (Dresdner Kammerchor) による、16 世紀のドイツ初期バロック音楽を代表する作曲家、ハインリヒ・シュッツ作品の SACD のセッションレコーディングの録音制作リポートを寄稿した。 http://surroundterakoya.blogspot.jp/</p>
<p>サラウンド寺子屋塾 5.1 Surround Terakoya Lab 「ベルリン・イエスキリスト教会でのオーケストラ・サラウンドレコーディングについて」</p>	<p>2013. 12. 3</p>		<p>2012 年 8 月にベルリン・イエスキリスト教会で行われた、ミリオス・クラシック (Myrios Classics) とドイツの公共放送ドイツユラントラディオ・クルトゥーア (Deutschlandradio Kultur 以下 DLR) が、コプロダクションし制作された、ヴィオラ奏者 タベア・ツィンマーマンと、ベルリン・ドイツ交響楽団との録音制作リポートを寄稿した。 http://surroundterakoya.blogspot.jp/</p>
<p>サラウンド寺子屋塾 5.1 Surround Terakoya Lab 「フンクハウス・ベルリン・ナレーパシュトラッセでのオーケストラ・サラウンドレコーディングについて」</p>	<p>2014. 1. 16</p>		<p>2012 年 12 月にドイツベルリン、フンクハウス・ベルリン・ナレーパシュトラッセで行われた、オランダ・ポリヒムニアのバランスエンジニア、ジョン・マリー氏の録音による、パーヴォ・ヤルヴィ指揮 ドイツ・カンマー・フィルハーモニー管弦楽団 (Paavo Järvi, Deutsche Kammerphilharmonie Bremen) の SACD 「ペーター・ヴェン：序曲集」の録音制作リポートを寄稿した。 http://surroundterakoya.blogspot.jp/</p>

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目 録音技法Ⅰ		スタジオ、ホールでの録音技術を研究するため、オーケストラ団体、学校、音楽系企業と受託研究契約を締結し、サウンド・メディアコース教員と、学生とともに音楽原盤制作を行った。その結果、学生が実際の仕事の一端に触れる環境を作り出すことができた。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
1年生の早い時期より、ステレオ、サラウンド作品について分析・研究し、「音楽的、あるいは芸術的にすぐれた音とはどのようなことなのか」をテーマに、クラシックからJazz、Popまで様々なスタイルの演奏者を招き録音を行い、学生が楽器本来の音を知ることができるよう工夫した。	・サウンドレコーディング技術概論	
授業科目 スタジオ・オペレーティング実習Ⅱ		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
スタジオでの録音だけではなく、学外のクラシック専用ホールで行われたオーケストラのコンサートをライブレコーディングすることで、ホールのアコースティックが録音作品に与える影響について、学生は体感することができた。	・サウンドレコーディング技術概論	

3. 学会等および社会における主な活動

AES (Audio Engineering Society)	2007年より	役員（会員担当理事）
---------------------------------	---------	------------